

コロナワクチン接種の新CMにモヤモヤ…《口調が政府広報みたい》で怖いと感じる人も

4 / 13 日刊ゲンダイ



「祝！新生活」のテロップとともに幼稚園の入園に心躍らせる女の子、小学校に通う男の子が母親とランドセルに荷物を詰める朝の支度シーンが印象的なさわやかな映像一。

一瞬、AC ジャパンの子育てなどに関するCMかと思ったが、映像の最後に「ココロが動きはじめたら 新型コロナなど、感染症のワクチン接種について考えてみませんか？」のナレーションで締めくくられていた。

これは4月から公開されたファイザー社の新CM「春は、はじまりと備えの季節篇」で、このCMがキー局の情報番組やラジオ、ABEMAなどのネット番組で頻繁に流れている。これにはSNSで連日、CM露出の多さを不気味に感じる視聴者の投稿が相次いでいる。

《NACK5(ラジオ)で流れるファイザーのCMがウザイ。1日に何回流すんだって腹立つくらい多い》

《ファイザー新しいCM やってる あちこちの情報番組でスポンサー ワクチンに批判的な発言なんてできるわけない》

《ファイザーが「ワクチンのことをもう一度考えてみて」といったテレビCMを流していますね》

《なんか口調が政府広報みたいだったので、まだ日本政府は推進してんのかと思ったら、最後にファイザーのロゴが出ました》

《テレビをつけてたらファイザー社のワクチン接種を勧めるCMを見た。今更感と在庫をさばきたいという必死感が怖い》といった具合。

もちろん、薬機法の関係で、効果については触れていないが、新型コロナワクチン接種に関しては3月28日、世界保健機関(WHO)が、60歳未満の健康な成人、子どもや若者の追加接種は1回までを推奨し、定期的な追加接種を「推奨しない」と公表したばかり。ワクチン接種後の後遺症や副反応の問題が不透明な中、推進する必要もないタイミングで、CMも子どもがターゲットとみられる演出だったため、モヤモヤした人が多かったようだ。